

令和7年度 浄蓮寺保育園事業報告書

① 職員配置 30名

園長 1 主任保育士 1 保育士 18（非常勤 6） 保育補助 1（非常勤）
栄養士 1 調理員 3 事務員 1
バス運転手 1 バス乗務員 1 用務員 2

② 年間入所児童 定員70名

4月	69名
5月	71名
6月	75名
7月	75名
8月	75名
9月	76名
10月	77名
11月	72名
12月	73名
1月	74名
2月	76名
3月	76名

③ 指導監査の結果（令和6年度事業に係る監査の結果）

（令和8年1月15日 福岡県・直方市）

福岡県	児童処遇	・特になし
	施設運営	・特になし
	保育所経理	・寄付金品の受領に際しての理事長等の承認の押印が確認できない。 ・保育所拠点区分から、委託費対象外経費が支出されているが、これらは法人本部拠点区分から支出する。 ・経理規定第65条第1項第2号による随意契約を行う場合はその理由を伺書等で明らかにする。 ・職員給食に係る支出については、収支計算書ではその他の支出－利用者等外給食費支出とし、事業活動計算書では その他のサービス活動外費用－利用者等外給食費とするように。
直方市	児童処遇	・特になし
	施設運営	・特になし
	給食施設栄養指導	・特になし

④ 要望・苦情に関する報告

令和7年度の苦情解決状況について

苦情・第三者委員への申し立てはなかった。

⑤ 基本方針と保育方針

保育所保育指針に沿って 創造保育の理念に基づいた保育実践を行っている

⑥ 主な行事

月	日	内容
4	1	入園式・進級式・クラス懇談会
	2	チューリップ園行き（きく組・すみれ組）
		虎尾桜行き（ひまわり組）
	8	チューリップ園行き（ひまわり組）
	16	歯科検診
	17	内科健診
5	7	乗馬センター行き（すみれ組）
	10	親子遠足
	12～23	個人面談
	14・15・20	検尿
	19～23	保育園開放日
	26	到津の森公園行き（すみれ組・ひまわり組）
	29	運動教室（直方市・こども育成課）
6	3～5	直方一中 職場体験受け入れ
	10	木下大サーカス 鑑賞（すみれ組・ひまわり組）
	28	卒園児カレーパーティー
	30	プール開き
7	2	福地山麓花公園 花育体験
	9	星まつり
	15・16	植木こども園プール行き（すみれ組・ひまわり組）
	22～25	保育園開放日
8	1	花器づくり（ひまわり組）
	28	水中サーカス
	30	夕涼み会
9	1	植木こども園と合同保育（ひまわり組）
	3	キャンプ説明会
	4・19	植木こども園と合同保育（ひまわり組）
	5	植木こども園プール行き（すみれ組・ひまわり組）
	8	植木こども園と合同保育（きく組）

	26・27	きこりさんのキャンプ
月	日	内容
10	8・9・15 21～24 28 30	検尿 就学時健康診断（ひまわり組） 福地の杜 慰問（ひまわり 九州管楽合奏団 鑑賞（ひまわり組）
11	2 4 10 19 22 25 26 27	おまつり運動会 児童発達支援事業所棟上げ参加 到津の森公園行き（すみれ組） 直方の杜 慰問（ひまわり組） 女性消防団 チューリップ球根植え（すみれ組・ひまわり組） 歯科検診 内科健診
12	2 6 7 8～19 15 24 25	行者杉行き（ひまわり組） 保育参観・給食試食会 直方一中校区 人権文化際 出品（ひまわり組） 個人面談 植木こども園と合同保育（きく組） クリスマス会 餅つき
1	9 17 27	卒園記念品製作（ひまわり組） 造形展 福地小との交流会（ひまわり組）
2	2 12 28	豆まき 交通安全教室 生活発表会
3	5 9 11 21 23 26	卒園記念写真撮影 福地小訪問 新入園児 説明会 卒園式 お別れ遠足（いのちの旅博物館）（ひまわり組） 修了式

毎月： 避難消火訓練・誕生会・すみれ組、ひまわり組 お花生け
卒園児（学童の部）お花生け
4月・5月・10月～3月 愛情弁当

⑦ 職員研修報告

	園内研修	園外研修
4月	・創造保育理念研修（クラス別） ・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	・保育所等運営管理研修
5月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	
6月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	・筑豊地方保育事業大会 ・熱中症予防指導員研修 ・救命講習 ・乳児保育研修（ZOOM）
7月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	・九州保育三団体研究大会 ・福岡県 新任保育士等研修 ・福岡県 発達障がいに対する地域相談・ 支援機能強化事業研修 （発達が気になる幼児への理解と発達支援）
8月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	・幼児教育のための研修会 （ことばの研修） ・筑豊地方保育協会保育会研修 （保育における食育と食事）
9月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	・県保協保育士研修研究大会 ・筑豊地方保育協会保育会研修 （幼児期の楽しい音楽表現）
10月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	・福岡県 新任保育士等研修 ・筑豊地方保育協会保育士会主任保育士会 幹部研修 ・食中毒予防研修 ・直方市保育協会一般教養研修 ・福岡県保育協会主任保育士研修
11月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について ・女性消防団から消防訓練	・直方市保育協会一般教養研修 ・幼児教育のための研修会 （ことばの研修） ・リスクマネジメント研修
12月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	・安全運転管理者講習会 ・福岡県保育協会保育士会研修会
1月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について	

2月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について ・交通安全教室	・不適切保育の防止に関する研修会
3月	・各クラスの保育の様子及び 気になる子について ・火災消火訓練	

園内研修については 毎月の職員会議において 各クラスの保育の様子、
ごっこ遊びについてや 気になるこどもについて話し合う。また園外の研修の
報告も行う。

⑧ 安全管理・衛生管理について

- ・消火避難訓練 毎月1回実施
- ・水害訓練・地震訓練・不審者防犯訓練 各年1回ずつ実施
- ・遊具チェック 毎週1回実施
- ・消防用設備等自主点検 毎月1回実施
- ・乳児用室内遊具 週末または適宜に洗濯
- ・アレルギー対応の園児は、献立表を保護者に渡し 食べられないものを
チェックしてもらい、給食室・保育室に貼る。また、副食を受け取る時は
声に出してチェック。
食事用のテーブルは別にし、食器・トレイは 視覚的に区別できるように
配慮している。
- ・午睡チェックは、0歳児 5分、1歳児 10分、2歳児 15分おきに必ず
目視する。こどもたちが 寝ついたらカーテンは開けて、こどもの表情を
見易くする。

⑨ 健康管理について

- ・ 園児

内科健診	4月17日・11月27日	年2回実施
歯科検診	4月16日・11月26日	年2回実施
尿検査	5月・10月	年2回実施
身長・体重測定		月1回
- ・ 職員

健康診断	年1回
給食・乳児担当職員検便	月1回

⑩ 栄養管理について

- ・栄養アセスメントによる献立構成（園児の身長・体重の変化による）
- ・食育計画の作成・実施（収穫した野菜を調理・食育についての紙芝居等）

⑪ 安全・災害対策について

- ・飲料水の貯蔵
- ・食料品の貯蔵
- ・蓄電池
- ・各クラスに避難用リュックを常備

⑫ 事故の発生状況

NO.	年齢	発生日	時間	場所	事故内容	処置
1	1歳児	5月1日	10:30	保育室	ストローをこいのぼりの棒にしたところ、噛みながら歩いて転倒。口の中を擦りむいた。	歯科口腔外科を受診 消毒をしてもらう
2	5歳児	5月1日	9:00	園庭	転がったボールを取ろうとしゃがんだところ、ボールに砂をかけようとした子がいて耳に砂が入った。	耳鼻科を受診 異常なし
3	2歳児	8月26日	10:45	プールサイド	プールサイドで遊んでいて、他児に押されプールの中に転倒。頭を打つ。	脳外科を受診。CTをとるも異常なし。 消毒をしてもらう
4	5歳児	1月19日	11:00	ホール	造形展の片づけ中 他児の頭とぶつかり歯茎から出血	歯科を受診 消毒、化膿止めをしてもらう
5	4歳児	3月26日	16:30	園庭	ボール遊び中 キャッチミス。骨折	その日は冷やして様子を見る。翌日も痛むので整形外科を受診

⑬ 地域交流について

昨年度に続き 老人介護施設からの慰問の要請を受けた。

今年度は 2カ所の施設を慰問し、お年寄りの方に 太鼓を聴いていただいたり、手遊びをしたり 歌を歌って聴いていただいたり と こどもたちも楽しそうであった。高齢の方と触れ合う機会の少ない子もいるので 大変貴重な経験をさせていただいた。

⑭ 自己評価について…別紙

【評価の目的】

評価することで保育士の専門性の向上と共に保育園全体の質の向上を図る。
保育士一人ひとりが 自己の保育をふりかえり、基盤となるこどもへの理解を深めることで日々の保育実践の意味を考え次へのより良い実践へと繋げていく。

【評価を通してみえてきたこと】

○どの項目も 十分わかる/十分できている 又は おおむねわかる/おおむねできている との自己分析をしている。

未満児クラスの担任は 調理に関してや地域との交流などの項目は こどもが体験しないため おおむね・・・の回答があった。

具体的に取り組んだこと、気づいたことの欄には それぞれの考えや反省が記入されていて自分の保育の振り返りをしっかりとしている様子が見られる
今後も こどもの姿を正しくとらえ、適切な関わりができるよう職員全員で学んでいきたいと思う。

○保育士は全員 「人権擁護のためのセルフチェック」も行っており 保育士としての行動、こどもとの関わりを振り返ることで 新たな視点から自己を見つめなおし こどもを尊重する保育を目指し、その認識と理解を深めて行くことに 努めている。

事業報告総括

- 創造保育の理念に基づき 各年齢ごとの発達を促せる保育を展開することができるお話の世界で こどもたちは一年間遊んでいる。
その気になって遊び、様々な経験をすることにより こどもたちの想像力・創造性を育て情緒豊かな人間力の充実したこどもへの成長・発達を促している。
そのための 年齢ごとの理念研修、自分のクラスだけでなく他の年齢の保育についても 毎月の職員会議や毎日の振り返りの時間等に話しをしているが今後も狙いをハッキリさせ充実した内容の遊びを展開できるように研鑽を積み重ねていきたいと考える。
また、関わりが難しいこどもが多く そのクラスにはなるべく多く保育士を配置したが、年齢的にも難しいこともあり（2歳児）結構大変であった。
担任の保育士も 発達障がいについての本を読んだり研修を受けたり、また職員会議等で どのように関わっていったらよいかを話し合ったりした。
保護者支援も細やかに行ってきて、こどもにとって一番良いサポートはということかを共に考えていき、次年度開設の発達支援事業所へも繋ぎ より一層細やかな支援ができるように進めていった。
今後も 保育士と保護者そして発達支援事業所との連携を密にとっていきたいと考える。
- 1件 骨折した事案があった。しかし、病院に連れていく回数は少なくなった。
保育環境にも十分留意もしたが、こどもたちの行動も注意散漫にならないように 声掛けをしたり、体幹を鍛えるよう日々の運動ごっこもいろいろ工夫して行った。
- 気候変動により暑さの厳しい日が多かった。水分補給はもちろん、体温を下げる工夫（適切なエアコンの使用・ミスト・水遊び・テント購入等）こどもたちの体調には 細心の注意をはらった。
寒い時期の感染症にも気を付け、インフルエンザ等感染症が猛威をふるうことは なかった。
- 今年度も 保護者との関わりを大切にし、行事としても親子遠足・保育参観・給食試食会・保育園開放日・夕涼み会・個人懇談会など催して、こどもたちのことを共に語ったりできる機会を多く持った。
年々 こどもだけでなく 保護者支援の重要性を感じるが、日々のノートのやり取りや 送迎の時の話など コミュニケーションをしっかりとっていくことを努めてやっていきたい。